

Short Story

—講演の狭間に—

2011年の初冬、富山県と愛知県から連日の講演依頼があった。前日の終了時刻が夕刻のため金沢で一泊、翌朝10時前に豊橋に向かえば午後2時半から開始に十分間に合う、との計画を立てた。ところが8時すぎ、石川県の関係者からの電話が鳴り、北陸本線が事故でストップとのこと。

あわてて、金沢駅へ。小松までは各駅を運転との情報で小松まで行ったものの、福井との間が不通。やむなくタクシーで高速を飛ばしてもらい1時間後の11時30分に福井到着。聞けば、12時過ぎに各駅停車が敦賀まで連絡とのアナウンス。

どう考えても開始時間に間に合わないので、現地に連絡を入れ、講演順序を入れかえて15時40分からにしてもらった。悪いことに、こんな時にかぎって携帯の電源が底をつきそうだ。しかし、何とかしなくては！！

敦賀に到着したものの、そこから先は、また各駅、しかも近江塩津で乗り換えないと米原までいけないとの情報。しかし、そのルートしか残された道はない。

近江塩津で乗った各駅が、何と「異常音を感知しましたので点検します」といって止まってしまう。これでは米原の待ち合わせ10分で乗り継ぎ予定の「ひかり」に間に合わない。

やっと動き出したものの、米原到着はひかり発車の2分前、乗客は我先にと階段を駆け上がる。JR側も、このときばかりは新幹線改札を全開放、切符は改札を通さないようにとのアナウンス。

息は切れ、心臓はドキドキ、14時52分発のひかりに何とか飛び乗ったものの、車内アナウンスによれば豊橋は通過とのこと。何たることかとあきらめかけ、再度現地と情報交換。どう考えても、名古屋でこだまに乗り換えると、豊橋到着は16時過ぎてしまう。今回の講演は中止にしてもらいたいとお話した。

しかし、ご担当も「みなさまが待っておられます。豊橋駅までお迎えに参ります」との返答。16時5分頃、通常3時間弱のところを7時間もかかって豊橋駅到着。待ち合わせ場所として指定された電話ボックス前から車のところまで「すいません、走っていただけますか」といわれ、このときに効果があったのが、日頃のジョギングだ。そんなこと、私にしてはおやすいご用だが、待っておられる皆様は気の毒でもある。

16時15分、会場着。前二つの講演を十分延長したうえ、ディスカッションの時間をつくり、しかも今は休憩中との話。

こんなことまで予想はしていなかったが、メールで送っておいたスライドは既にスタンバイ。「申し訳ありません。少し遅れてしまいましたが、最後のテーマに移ります」内心はやれやれだったが、私は何ごともなかったように話し出したのである。